

Art Fair

spiral take art collection 2017

蒐集衆商

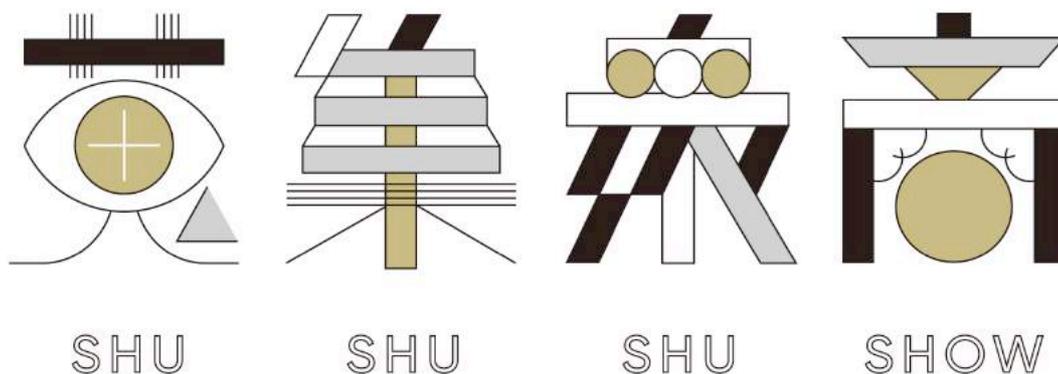
会期 [前期] 2017年12月15日(金)~18日(月)

[後期] 2017年12月20日(水)~25日(月) ※19日は入替えのためクローズ

会場 スパイラルガーデン (スパイラル 1F)

クリエイティブ業界屈指の“目利き”が選ぶ、
セレクトッドアートフェア開催！

spiral take art collection 2017



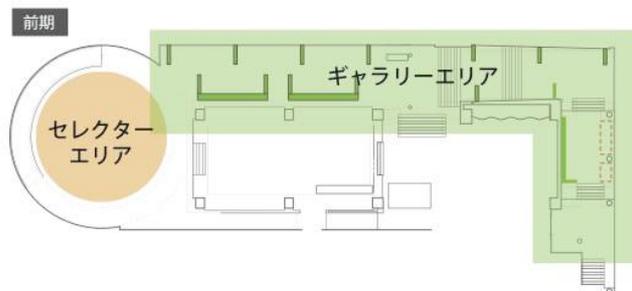
スパイラルは、2017年12月15日(金)~25日(月)までスパイラルガーデン(スパイラル1F)にて、アートを日常生活に取り入れることを目指し、1988年から2005年まで、美術作品を気軽に買えるアートフェアとして展開してきた「spiral take art collection」を12年ぶりにリニューアルして開催します。今回は「spiral take art collection 2017『蒐集衆商(しゅうしゅうしゅうしょう)』」と題し、「蒐集する喜び」「コレクションの魅力」に焦点を当て、クリエイティブ業界屈指の“目利き”や、現代アートシーンを牽引するギャラリーがセレクトした、質の高い、美術作品や骨董、本、工芸など多岐にわたる「美しいもの」を展示・販売いたします。タイトルには、蒐集を愉しむ衆(=目利き・コレクター)による商いであり、ショーであるという意味が込められています。ジャンルを超えた、美しい混沌からあなただけの宝物を見つけ出し、手に入れる喜びを体感してください。アート初心者からコレクターまで愉しめる本フェア、この機会にぜひご取材、ご掲載を検討くださいますよう、よろしくお願いいたします。

ご掲載に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 浅野仁美
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848

E-mail press@spiral.co.jp SPIRAL WEB <http://www.spiral.co.jp/>

会場レイアウト・出展ギャラリー

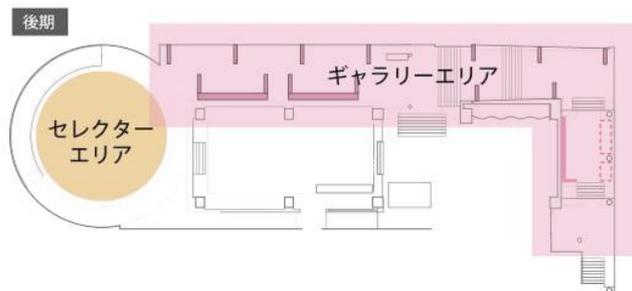
前期 2017年12月15日(金)～18日(月)



前期 出展ギャラリー

- ・ ex-chamber museum (東京)
- ・ MA2Gallery (東京)
- ・ KIDO PRESS (東京)
- ・ GEN-SCH-AN
[Röntgenwerke AG + IKEUCHI FINE ARTS CO., LTD] (東京)
- ・ Satelites ART LAB. (東京)
- ・ t.gallery (東京)
- ・ 鳩ノ森美術 (東京)
- ・ ボヘミアンズ・ギルド (東京)
- ・ MORITAKA (東京)

後期 2017年12月20日(水)～25日(月)



後期 出展ギャラリー

- ・ 赤々舎 (京都)
- ・ hpgrp GALLERY (東京)
- ・ エディション・ワークス (東京)
- ・ GALLERY 小暮 (東京)
- ・ GALLERY 360° (東京)
- ・ Gallery MARUHI (東京)
- ・ GEN-SCH-AN
[Röntgenwerke AG + IKEUCHI FINE ARTS CO., LTD] (東京)
- ・ ロイドワークスギャラリー (東京)

※セレクトターエリアは前期・後期の入替えはありません。

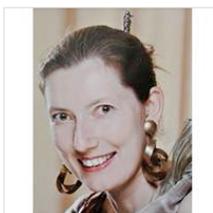
セレクトター



ブライアン・フィー Brian Fee

VOLTAアートフェア コミュニケーション・マネージャー、ギャラリーリエゾン

ニューヨーク・ブルックリンを拠点におくライター、アートリサーチャー。国際チームとともにニューヨークとバーゼルで開催されるアートフェア VOLTA を共催する。VOLTA では、日本のみならず世界中の現代アートのアーティストやギャラリーを紹介、その発展に貢献する。その他、ダビドフ アート・イニシアティブと協同して、カリブ海諸国のアーティストを支援するためのアート・レジデンシープログラムにも携わる。



エレーヌ・ケルマシュター Hélène Kelmachter

キュレーター、アンスティチュ・フランセアルゼンチン 文化プログラム主任

パリで美術史を学んだ後、美術評論家およびキュレーターとして、日本とフランスのアートシーンでキャリアを積む。1994年～2007年まで、カルティエ現代美術財団にキュレーターとして勤務。2007年～2012年にかけて、東京に在住し、在日フランス大使館に文化プログラム担当の大使館員として在籍する。以来、日本のアートシーンに活動の場を求める。キュレーターとしての主な展覧会に、「サビーヌ・ピガール写真展『TIMEQUAKES 時のかさなり』」(2014年、CHANEL NEXUS HALL)、「イメージメーカー展」(2014年、21_21 DESIGN SIGHT)、「フランス人間国宝展」(2017年、東京国立博物館表慶館)。2018年9月まで、アンスティチュ・フランセアルゼンチンにて文化プログラム主任を務める。



ユッカ・サヴォライネン Jukka Savolainen
ヘルシンキ デザイン・ミュージアム 館長

ニューヨークのマテリアルコネクションでリサーチ&インフォメーションディレクターや、デザイン・ミュージアムの副館長および展覧会キュレーターを務めるなど、美術館やデザイン分野でキャリアを積む。スコットランドのセントアンドリュース大学で美術史を学び、現代デザインから国のデザイン政策やデザインによる政策決定まで、その研究対象は広範囲に及ぶ。フィンランドのデザインや国際的デザイン・トレンドに関する多くの書物の執筆や、フィンランドのデザインに関する書籍の編集を手掛けるほか、デザイン関連イベントやビジネスコンサルタントも務める。



小林マナ
空間デザイナー

夫の小林恭とともに設計事務所ima（イマ）を営む。店舗設計をメインに住宅建築設計、展覧会の会場構成やプロダクトデザインなどを手掛ける。最近の作品に、LAPUAN KANKURIT二子玉川店、インテリアライフスタイル展2017の会場構成など。蒐集家商では、会場構成も手掛ける。

Photo : Kenta Yoshizawa



塩見有子
アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト] ディレクター

東京生まれ。学習院大学法学部政治学科卒業後、イギリスのサザビーズインスティテュートオブアーツにて現代美術ディプロマコースを修了。2002年、NPO法人AITを立ち上げ、代表に就任。AITでは、アーティストやキュレーター、ライターのためのレジデンス・プログラムや現代アートの教育プログラムMADを始動させたほか、メルセデス・ベンツ日本やマネックス証券、ドイツ銀行、日産自動車などの企業との連携事業を含む、企画やマネジメント、運営を行う。

Photo : Yukiko Koshima



菅野康晴
『工芸青花』編集長

編集者。1968年栃木県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業後、1993年新潮社入社。『芸術新潮』および「とんぼの本」シリーズの編集部に在籍し、美術・工芸を主に多くの企画を手がける。担当した本に、川瀬敏郎『一日一花』、坂田和實『ひとりよがりのものさし』、中村好文『住宅読本』、金沢百枝・小澤実『イタリア古寺巡礼』、赤木明登・智子『うちの食器棚』、木村宗慎『利休入門』、三谷龍二『「生活工芸」の時代』など。2014年、骨董・工芸・建築等を紹介する雑誌『工芸青花』創刊（年3回刊）。



住吉智恵
アートプロデューサー、ライター

東京生まれ。慶応義塾大学文学部美学美術史学専攻卒業。1997年より美術ジャーナリストとして活動。オルタナティブスペース「TRAUMARIS」主宰を経て現在各所で現代美術とパフォーミングアーツの企画を手がける。2011～2016年、横浜ダンスコレクション/コンペ2審査員。子育て世代のアーティストとオーディエンスを応援するプラットフォーム「ダンス保育園!! 実行委員会」代表。

Photo : MP Risaku Suzuki



遠山正道

株式会社スマイルズ 代表取締役社長

1962年東京都生まれ。慶應義塾大学商学部卒業後、1985年三菱商事株式会社入社。2000年株式会社スマイルズを設立、代表取締役社長に就任。現在、「Soup Stock Tokyo」のほか、ネクタイ専門店「giraffe」、セレクトリサイクルショップ「PASS THE BATON」、ファミリーレストラン「100本のスプーン」、コンテンポラリーフード&リカー「PAVILION」、海苔弁専門店「刷毛じょうゆ 海苔弁山登り」を展開。「生活価値の拡充」を企業理念に掲げ、既存概念や業界の枠にとらわれず、現代の新しい生活の在り方を提案している。近著に『成功することを決めた』（新潮文庫）、『やりたいことをやるビジネスモデル-PASS THE BATONの軌跡』（弘文堂）がある。



皆川明

minä perhonen デザイナー

1967年東京生まれ。1995年に自身のファッションブランド「minä (2003年より minä perhonen)」を設立。時の経過により色あせることのないデザインを目指し、想像を込めたオリジナルデザインの生地による服作りを進めながら、インテリアファブリックや家具、陶磁器など暮らしに寄り添うデザインへと活動を広げている。また、デンマーク Kvadrat、スウェーデン KLIPPAN などのテキスタイルブランド、陶磁器ブランド Richard Ginori へのデザイン提供や、東京スカイツリーをはじめとするユニフォームデザイン、新聞小説の挿画なども手掛ける。

Photo : LA.TOMARI

出展作品(一部)



画像左から オノ・ヨーコ『I LOVE U』(2004)、片山真理『shadow puppet #020』(2016)、三沢厚彦『クマ(白/立ち/斜め)』(2014)、曾谷朝絵『The Light』(2017)

出展作家

浅野健一、荒木経惟、荒牧悠、石井隆寛、石川竜一、ウエスト・ボンニミット、植松永次、榮水亜樹、大竹伸朗、小野川直樹、オノテラユキ、オノ・ヨーコ、片山真理、川内理香子、キキ・スミス、三川義久、曾谷朝絵、高崎紗弥香、高松明日香、瀧本幹也、田島大介、津上みゆき、土田泰子、中村弘峰、蓮沼昌弘、早野恵美、葉山有樹、東恩納裕一、日高理恵子、堀浩哉、町田久美、三沢厚彦、山口藍、吉原治良 ほか

オフィシャルサイトにて随時最新情報をアップしています。 www.spiral.co.jp/takeart

開催概要

名称：spiral take art collection 2017 「蒐集衆商」

会期：[前期] 2017年12月15日(金)～18日(月) 11:00-20:00

[後期] 2017年12月20日(水)～25日(月) 11:00-20:00

※19日は入替えのためクローズ

会場：スパイラルガーデン (スパイラル 1F) 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

入場無料

主催：株式会社ワコールアートセンター

会場構成：小林恭+マナ (設計事務所 ima)

グラフィックデザイン：田部井美奈

企画制作：スパイラル

お問い合わせ：03-3498-1171 (スパイラル代表)